

# 平成21年度第1回

## 恵那市総合計画審議会・ワーキングチーム合同会議議事録

### 《要約版》

---

- 開催日 平成21年5月19日（火）
- 時間 9：30～11：00
- 場所 恵那市役所会議等 大会議室
- 次第
  1. 委嘱書の交付
  2. 市長あいさつ
  3. 自己紹介
  4. 審議会長・副会長の互選
  5. 審議会長・副会長あいさつ
  6. 総合計画の策定について（諮問）
  7. 会議の公開、会議録の公表について
  8. 議事
    - ①総合計画策定について
      - ・総合計画後期計画の策定方針について
      - ・策定スケジュールについて
      - ・今後の会議の進め方と配布資料の説明
    - ②ワーキング会議（各部会）へ

#### ●欠席者（敬称略）

##### 総合計画審議会委員

加藤 光明、近藤 良三、水野 泰司、西尾 公男、後藤 俊彦、三宅 明

##### 総合計画ワーキングチーム委員

後藤 政弘、柘植 孝彦

#### ●傍聴者

0名

---

#### 1. 委嘱書の交付

#### 2. 市長あいさつ

可知市長 たいへんお忙しい中、恵那市総合計画の審議会とワーキング会議の合

同会議を開催したところご出席いただき感謝する。

ただいま、皆様方に委嘱書を手渡させていただいた。審議会委員の皆様方には、本日から平成 23 年 3 月まで、ワーキングチームの皆様方には本日より総合計画策定までの平成 22 年 6 月頃までを予定している。よろしくお願ひしたい。

恵那市は合併して 5 年目になる。総合計画は合併した平成 17 年に策定している。それに基づいてまちづくり進めており、私は順調に進んできたと思っている。しかし、昨今の経済情勢、少子高齢化の進展などが、恵那市にも大きな波をもたらしており、後期計画についてどういう計画をつくるのか、皆さんとお話しながら策定していきたいと思う。

恵那市の総合計画は平成 18 年から 27 年までの 10 年間の計画。基本計画は前期計画と後期計画の 5 年ごとに分かれており、前期計画は 18 年から 22 年までの 5 年間、後期計画は 23 年から 27 年であり、23 年から始まる後期計画について、今から皆さんの知恵を出していただき、恵那市にふさわしい後期計画をつくっていただきたい。

全国的に人口が急減すると言われていたが、恵那市の場合、シミュレーションをしたところ、東濃 5 市の中で人口の減少が一番速いと言える状況になった。こういうところも加味しながら後期計画の策定に当たっていただければと思う。総合計画の人口フレームは 5 万 5 千人としているが、それが良いのかどうかも含めて検討していただきたいと思う。

そして合併して 5 年目を迎えたが、それぞれの地域において地域計画を策定している。現在、各地域の協議会で地域計画の見直しについてお話をさせていただいている。それと整合性を図りながら総合計画の策定を進めさせていただきたいと思う。各地域においても地域計画の見直しをこれから進めるところであり、整合性を図る必要があるため、これについても皆様方のご意見をいただければと思う。

昨日、市の職員のワーキングチームに参加する 25 名を任命させていただいた。なるべく若い職員ということで課長補佐、係長、主査級の職員を任命させていただき、それぞれ 6 つの部会に入ってもらった。市の行政の内容については職員に聞いていただければと思うので、よろしくお願ひしたい。

これからのまちづくりはたいへん難しい局面を迎えている。財政的な問題、人口減少の問題なども含めて、前期計画との連携をしっかりとめた計画になれば良いと思っている。

前回に引き続いて、岐阜大学の有本先生にはお世話になるが、よろしくお願ひしたい。それでは皆様方にこれからの計画作りに向けた意見をしっかりと出していただくことを祈念してごあいさつとする。

### 3. 自己紹介〔名簿による紹介〕

#### 4. 審議会長・副会長の互選

- 委員 会長には、総合計画に詳しい岐阜大学教授の有本委員、副会長には前回推進市民委員会に引き続き恵那市観光協会専務理事の丸山委員にお願いしたいと思う。
- 小嶋部長 ただいま、委員より、会長には有本委員、副会長には丸山委員とご発言があったが、その他にご意見はあるか。
- 各委員 異議なし。
- 小嶋部長 それでは、会長は有本委員、副会長は丸山委員に決しました。

#### 5. 審議会長・副会長あいさつ

- 有本会長 ただいま会長に推薦された、岐阜大学地域科学部の有本だ。以前は農学部におり、本当の専門は農業経済学だ。13年前に地域科学部が新しくできて、現在は、協同組合論や消費経済論、地域経済論を中心に授業をしている。
- 合併に関わる時から参画させていただき、今回も声をかけていただいた。大した力もないが、この中では唯一外部からの人間だと思うので、客観的な立場で物事を見て、民主的で円滑な審議が進むよう最大限に努力させていただく。
- 丸山副会長 昨年に引き続き副会長を仰せつかった恵那市観光協会の丸山だ。日ごろはたいへん皆様方にご支援をいただいている。微力だが一生懸命尽力させていただく。
- 今度の後期計画の中では、先ほど市長がお話されたように、人口の減少と財政計画の2つの部会が加わった。恵那市を展望したときに、少子高齢化のテンポが想像以上に速くやってきたのではないかと、そこに大きな危惧を持たれたのではないかと思う。少子高齢化が進めば、生産人口が減少し、地域の経済、活力が低下するので、財政に跳ね返ってくる。恵那市の経営の根幹を揺るがすたいへん重要な項目であり、私たちはそこにメスを入れなければいけないが、これは後期計画の重要な役割の1つであると思う。
- 協働のまちづくりだが、これからは協働の部分、住民の役割が大きくなってくると思う。一人暮らしの方や高齢世帯の方の中には、週2回のごみステーションにごみを持っていけない方が増えてきた。そうした方を周りの人がお手伝いをしている。地域のことは地域の我々が守っていく、特にこれからは、地域の皆さんが連帯感を強めていくことが大事だと思う。中には、地域に参加しない、協力しない方もいるが、そういう方を説得することも必要になると思う。
- 最後に、最も私たちが不得意の分野だが、外に向けて積極的に地域間交流をしていくということを言いたい。有志の団体が積極的に取り組ん

でいるが、住民レベルの中で、名古屋圏など都市部の地域と連携を図っていくことが非常に大事だと思う。人の交流のほかに物の交流も図りながら、自分たちの地域を守るためにも他地域との交流を図っていくことが大事だと思う。

いずれにしても、後期計画策定については、委員の皆さんと一緒にやって後になって悔いのない計画をつくっていきたいと思う。

## 6. 総合計画の策定について〔市長から会長へ諮問〕

## 7. 会議の公開、会議録の公表について〔全員了承〕

## 8. 議事

### ①総合計画策定について

- ・総合計画後期計画の策定方針について
  - ・策定スケジュールについて
  - ・今後の会議の進め方と配布資料の説明
- 〔事務局から資料にもとづき説明〕

有本会長 レジメ 7 ページの後期計画の策定にあたって、11 ページの策定体制(案)、12 ページのスケジュールについて、ご質問やご要望があればお話をお願いしたい。

委員 新たに 2 つプロジェクトが設けられたが、お知らせの手紙にはなかったと思う。前回の推進市民委員会の中でも意見を言ったが、人口減少は恵那市でも最重要課題であり、総合計画の中に組み込めないかと意見を言った。そのことが反映され、重要課題として 2 つのプロジェクトチームが設けられたことは理解する。しかし、この大事なことが会議前のお知らせには入っていなかった。これらは急にできたものなのか。また、2 つのプロジェクトができた意図について文章がないのはどういうことなのか。

福平係長 初めに、この 2 つのプロジェクトには途中から市民の皆様を入れるという方向になったため、初めの段階で十分な周知ができなかったことを申し訳なく思う。

後期計画の策定に向けては、総合計画の柱に沿って健康福祉、都市交流基盤、教育文化という 3 つの部会で進めていく形で、当初は、人口減少対策や長期財政計画についても、この 3 つの部会の中でやっぺいこうと考えていた。その後、人口推計の結果が出て、このやり方で良いのか議論になり、新たに人口減少と長期財政については特別なプロジェクトを組んでやっぺいこうという経過でスタートした。

人口減少対策プロジェクトについては、皆様に後の部会の所属希望の

葉書でお知らせしたところだが、長期財政計画については当初は職員のみで行う予定であったので審議会の皆様にはお知らせしていなかった。しかし、市民の皆様にも市の財政についてよく理解していただき、分かりやすい財政計画、数値目標をつくるという視点で、急ぎよ市民を入れることになり、数名の方に入っていただくよう事務局の方から連絡した次第である。

可知市長 人口も財政も大きな課題であり、市民の皆様にも諮ってほしいと私が言ったことからこのようなことになった。特に、財政問題はしっかりと知っていただきたいし、同時に人口の状況も厳しいので、皆様にご議論いただきたいと私から指示をしたため、このようなことになった。申し訳ない。

委員 私は地域的な問題を思っている。特に、恵那市が合併し5年が経過しつつあるが、プロジェクトなどが地元浸透しない。新しい組織や新しい動きが地域になかなか浸透しない中で、役員が変わって、新しいものが降りてくると、地元の人たちは訳が分からない。そういった中で、振興事務所の人員も削減されてくるので、地元の市民に伝えていくことを今後どうやっていくのか、市民はどのような役割を担うのかは大きな問題である。

同時に、私たちの地域は地理的に愛知県に近く、都市交流には有利な条件を持っている。人口減少に対しても大きな利点を持っているので、そうした県境の利点を生かした動きなど、是非そんなことも考えていきたい。

委員 私は今回は教育部会に決まった。これまで1年やってきて、今回人口減少と長期財政の検討部会が追加されたが、勉強していくと、どうしても財政問題がくる。したがって各部会に分かれるわけだが、それぞれ他の部会のことについても、意見を集約していただけるようなものを作っていたいただきたい。私は日ごろから気づいたことをメモしているが、自分の部会の管轄外のアイデアを皆さんも持っていると思うので、そういう場を作っていたいただきたい。企画課に持っていくのであればそれでも良いが、それを確認したい。

福平係長 委員の意見への対応は事務局でも考えている。これからの会議では、事務局から事前に皆様に各部会の資料を配布させていただくが、合わせて、事務局の方に自分の所属する部会以外の意見を書いていただく様式をお配りし、そちらに記入し事務局に提出していただければ、各部会に伝えていく形をとりたい。各部会に出席できない場合のご意見についても、事前に提出していただければ会議で発表するように考えている。

小嶋部長 前の委員の意見について、地域の意見を聞かなくてはいけないことはそのとおりである。後期計画の策定に当たっては、併せて地域計画の後

期計画も策定することになっており、28日に市長から諮問させていただくが、それに先立ち、市長が13の地域協議会を回り、地域計画の策定と総合計画の策定について説明させていただいている。13地区のうち現在までに8地区で終わっている。その中で基本的な話をして、その後、各振興事務所を事務局として地域計画を策定する中で、各地区の意見が上がってくるので、総合計画に吸い上げていくことを考えている。スケジュールにもあったが、秋ごろに全体の擦り合わせを行いたいと考えている。また、総合計画の本体がまとまった頃に、地域懇談会として、市長とともに市の幹部が回って説明し、やり取りをさせていただく。地域ということだけでなく、全体的な市民の意見を聞くパブリックコメントも行う予定であり、地域の意見の吸い上げやすき合わせは何回も機会を設けていきたいと考えている。

有本会長

会議で様々な意見が出てくるが、私はワーキングチームに入っておらず全体の会議にしか出ないので、議事進行の世話役をやるとき、会議にぽっと出てきてその場でどうすればよいか困ることがよくある。ワーキングチームで了解されたことでも、他のワーキングの方は知らないこともある。全体の会議が調整する場であると言えそうだが、限られた時間で全体会議をやらざるを得ないので、ワーキングチームだけでなく、普段の皆さんのお付き合いの中で個々の情報をやり取りできると、全体会議もうまくいくのではないかと。ここにいる皆さんが、審議会委員もワーキングの皆さんも、どこかで誰かと会ったときにコミュニケーションしていただくと全体がうまく進んでいくのではないかと。これは私からのお願いである。普段から皆さんがコミュニケーション能力を発揮していただくと、ワーキングも全体会議も円滑に進む。その中で地域の助け合いも培われていくと思う。

審議会はいくまでも地方自治法に基づく市長の付属機関で、諮問を受けて答申をするオーソライズをする機関である。しかし、オーソライズされていないと審議ができないわけではないので、自分たちでやれること、やりたいことはどんどんやっていただいて結構である。議題にあがって認められないとできないわけではない。むしろ、自分たちがやりたいことをやってきて、それは良いなと他の地区の人が見て、ワーキングや審議会にあげてオーソライズしてほしいと言うかもしれない。ワーキングや審議会にあげてオーソライズしないと始まらないと思わないで、自分たちがやりたいことでできることはどんどんやっていった方がよい。それを普段からのコミュニケーションで、皆さんが会ったときに話をしてやっていくことも大事である。皆さんが意見を交流してオーソライズしていくことも大事であるが、皆さんがやりたいことを先にやって、それをオーソライズして市全体でやっていこうということにもなる

ので、実行が1つの車輪になり、それを定義づける審議会やその土台になるワーキングがもう1つの車輪になり、両方の車輪が回っていかないと物事が進んでいかないかなと感想を持っている。

総合計画の策定についてはおおむね皆様のご了解を得られた。この後はワーキングに分かれて議論していただく。

可知市長

ありがとうございました。

先ほどもお話があったが、各地域自治区の協議会を開催していただき、今までに8地区で地域協議会の委員の皆さんとお話をさせていただきました。現況や課題を把握するのだが、まず初めに平成21年度の予算や、そのもとになる収入にどのようなものがあるのかをお話させていただいている。たいへん分かりにくいのが、皆さんに予算の内容を知ってもらいたい。もう1つは人口減少の話をするので、たいへん厳しい話ばかりで、もっと明るい話をするように言われる。今は景気が悪く税収が減るので、人口が減ると1人あたり約10~15万円の交付税が減っていく。5千人減れば1億5千万円くらい減る。合併して5年目となり、交付税も10年経てば20億くらい減るので、そういう話もさせていただく。2つのプロジェクトを加えたことは、そのような現実をしっかりと見て、それにどのように対応していくかを考えなくてはいけないからである。あえて厳しいことを言っているが、これが現実である。それを打開するために何をすれば良いかということであり、そんな話を地域でさせていただいている。

今日はありがとうございました。これからはたいへんハードなスケジュールだが、よろしくお願ひしたい。

## ②ワーキング会議（各部会）へ

[5つの部会に分かれてワーキング会議を実施]